

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【343】
2. 日時：令和4年12月19日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、

山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他5名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（サプレッションチェンバアクセスハッチ等）について、令和4年12月13日の提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。
 - 【サプレッションチェンバアクセスハッチの耐震性についての計算書】
 - アクセスハッチを補強した理由を説明すること。
 - 固有周期の計算について、アクセスハッチ取付部周辺のサプレッションチェンバ胴の質量の取り扱い方を説明すること。
 - 【サプレッションチェンバスプレイ管の耐震性についての計算書】
 - スプレイ管及びその他のサプレッションチェンバ内部構造物の設計用地震力の設定及び地震応答解析の方法について、サプレッションチェンバの応答の考慮を踏まえ整理して説明すること。
 - スプレイ管の構造強度評価結果について、一次応力と一次＋二次応力の算出応力の最大値を示した評価部位を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし